

第 60 期 業務報告書

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日



アルプス中央信用金庫

〒 396-8611 長野県伊那市荒井 3 4 3 8 番地 1

TEL (0265) 72-4171

FAX (0265) 72-4433

<http://www.alpuschuo-shinkin.jp>

ごあいさつ

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より格別なるご高配を賜わりまして心より厚くお礼申し上げます。

ここに第60期の事業概況並びに決算状況をご報告申し上げるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。



平成22年度のわが国経済は、牽引役の製造業が中国や新興国に押され気味となり、世界上位の企業に順位後退の傾向が見られました。先行きへの不透明感から設備投資の意欲は減衰し、住宅着工数も失速した結果、資金需要は低迷しました。株式市場では、春先の生命保険会社の大型上場で新たな株主が市場参加者となり活況を呈しましたが、米国経済の停滞や欧州の金融不安の広がりや長期に及んだメキシコ湾の原油流失などから円高が進み、エコカー補助金の打ち切りとともに次第に低下いたしました。同時に、市場金利の低下が顕著になりましたが、年末からはようやく落ち着きが見られるようになりました。

しかし、3月11日に発生した東日本大震災が、被災地ばかりでなく、すべての産業の未来に向けた明るいシナリオを押し流してしまいました。この国難を克服するには、当地においても、もはや平時ではないことを認識し自らが変化し進化する気概を持って行動することが必要であると考えています。

こうした中、地域社会の閉塞感を打開すべく資金や情報の提供による地域再生、支援・活性化に努めてまいりました。その結果、当期純利益は2億82百万円を計上することができました。

一方、業容面では、預積金は38億円増加して2,876億円になりましたが、貸出金は44億円減少の1,412億円にとどまりました。まだまだ国内事業者のマインドは慎重なスタンスを優先させている段階であり、多くの皆様方からメイン取引をいただいている弊金庫の特性によるものと認識しています。また、厳格な自己査定を反映した貸倒引当金につきましては、昨年につき11億円の積み増しを行い健全性の向上に努めました。

しかしながら、厳しい経済環境にあっても将来の安定した経営基盤を構築するための自己資本比率は8.79%から9.20%に改善できました。

また、視覚障がいのある方がATMを使えるよう店内と店外の全台にハンドセット機能を追加設定いたしました。利便性の追求を重ねることが、必ず業績への力強いサポートに繋がるものと期待しています。

平成23年度の企業収益は、「がんばろう日本」の合言葉で震災ハンデを乗り越え回復に転じるものと信じておりますが、信用金庫法60周年にあたる本年をひとつの転機として捉え、再び創業時の熱い心であらゆることにチャレンジし、相互扶助の経営理念と協同組織の機能を十分に発揮させ地域社会の持続的発展に寄与するよう、役職員一丸となって全力を尽す所存でございますので、一層のご愛顧とお引き立てを賜わりますようお願い申し上げます。

平成23年6月

理事長 大澤一郎

当金庫の概要

- 法人成立 昭和26年4月23日
- 事業開始 昭和26年6月8日
- 出資金 10億90百万円
- 会員数 26,975名
- 本店 伊那市荒井3438番地1
- 店舗数 23店舗
- 役職員数 285名
- 預金積金 2,876億80百万円
- 貸出金 1,412億80百万円

主な経営指標の推移

(単位:百万円)

科目	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末
預金積金	284,250	283,841	287,680
貸出金	152,988	145,707	141,280
有価証券	60,624	62,501	53,704
純資産 (うち出資金)	9,915 (1,096)	11,877 (1,093)	11,454 (1,090)
会員数	27,165人	27,081人	26,975人
経常利益	△ 1,420	264	299
当期純利益	△ 1,638	263	282

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

第60期 貸借対照表

(平成23年 3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	7,049	預 金 積 金	287,680
預 け 金	101,385	当 座 預 金	5,327
金 銭 の 信 託	1,600	普 通 預 金	86,960
有 価 証 券	53,704	貯 蓄 預 金	3,248
国 債	13,289	通 知 預 金	672
地 方 債	5,742	定 期 預 金	173,788
社 債	23,208	定 期 積 金	15,887
株 式	796	そ の 他 の 預 金	1,793
その他の証券	10,666	借 用 金	398
貸 出 金	141,280	借 入 金	398
割 引 手 形	2,642	そ の 他 負 債	1,145
手 形 貸 付	23,698	未 決 済 為 替 借	43
証 書 貸 付	107,651	未 払 費 用	390
当 座 貸 越	7,288	給 付 補 て ん 備 金	103
そ の 他 資 産	1,866	未 払 法 人 税 等	10
未 決 済 為 替 貸	34	前 受 収 益	152
信 金 中 金 出 資 金	984	払 戻 未 済 金	3
未 収 収 益	627	払 戻 未 済 持 分	0
そ の 他 の 資 産	219	職 員 預 り 金	86
有 形 固 定 資 産	3,682	リ ー ス 債 務	269
建 物	2,188	資 産 除 去 債 務	13
土 地	878	そ の 他 の 負 債	72
リ ー ス 資 産	267	賞 与 引 当 金	115
その他の有形固定資産	348	退 職 給 付 引 当 金	297
無 形 固 定 資 産	159	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	98
ソ フ ト ウ ェ ア	42	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	14
リ ー ス 資 産	2	偶 発 損 失 引 当 金	12
その他の無形固定資産	114	債 務 保 証	815
繰 延 税 金 資 産	248	負 債 の 部 合 計	290,578
債 務 保 証 見 返	815	(純資産の部)	
貸 倒 引 当 金	△9,759	出 資 金	1,090
(うち個別貸倒引当金)	(△9,113)	普 通 出 資 金	1,090
		利 益 剩 余 金	10,364
		利 益 準 備 金	1,102
		そ の 他 利 益 剩 余 金	9,261
		特 別 積 立 金	8,900
		当 期 未 処 分 剩 余 金	361
		処 分 未 済 持 分	△ 0
		会 員 勘 定 合 計	11,454
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	0
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	0
		純 資 産 の 部 合 計	11,454
資 産 の 部 合 計	302,033	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	302,033

第60期 損益計算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目		金	額
経	常 収 益		5,977,875
資	金 運 用 収 益	4,575,551	
	貸 出 金 利 息	3,166,107	
	預 け 金 利 息	614,772	
	有 価 証 券 利 息 配 当 金	772,651	
	そ の 他 の 受 入 利 息	22,021	
役	務 取 引 等 収 益	440,661	
	受 入 為 替 手 数 料	233,552	
	そ の 他 の 役 務 収 益	207,108	
そ	の 他 業 務 収 益	725,579	
	国 債 等 債 券 売 却 益	684,541	
	国 債 等 債 券 償 還 益	30,880	
	そ の 他 の 業 務 収 益	10,158	
そ	の 他 経 常 収 益	236,082	
	株 式 等 売 却 益	195,098	
	金 銭 の 信 託 運 用 益	14,141	
	そ の 他 の 経 常 収 益	26,842	
経	常 費 用		5,678,774
資	金 調 達 費 用	415,462	
	預 金 利 息	364,142	
	給 付 補 て ん 備 金 繰 入 額	48,340	
	借 用 金 利 息	1,010	
	金 利 ス ワ ッ プ 支 払 利 息	1,552	
	そ の 他 の 支 払 利 息	417	
役	務 取 引 等 費 用	231,559	
	支 払 為 替 手 数 料	68,581	
	そ の 他 の 役 務 費 用	162,978	
そ	の 他 業 務 費 用	407,533	
	国 債 等 債 券 償 還 損	38,178	
	国 債 等 債 券 償 却	365,971	
	そ の 他 の 業 務 費 用	3,383	
経	費 用	3,382,802	
	人 物 費 用	1,948,069	
	税 費 用	1,379,552	
	そ の 他 経 常 費 用	55,180	
そ	の 他 経 常 費 用	1,241,415	
	貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,151,290	
	株 式 等 売 却 損	14,440	
	株 式 等 償 却	35,577	
	そ の 他 資 産 償 却	0	
	そ の 他 の 経 常 費 用	40,107	
経	特 別 利 益		299,100
特	別 利 益		4,460
	固 定 資 産 処 分 益	50	
	償 却 債 権 取 立 益	3,917	
	そ の 他 の 特 別 利 益	491	
特	別 損 失		12,038
	固 定 資 産 処 分 損	4,322	
	そ の 他 の 特 別 損 失	7,716	
税	引 前 当 期 純 利 益		291,521
法	人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税	7,101	
法	人 税 等 調 整 額	1,496	
法	人 税 等 合 計		8,597
当	期 純 利 益		282,924
前	期 繰 越 金		78,939
当	期 未 処 分 剰 余 金		361,863

第60期 剰余金処分

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

科 目	金 額 (円)
当 期 未 処 分 剰 余 金	361,863,604
剰 余 金 処 分 額	293,581,238
普通出資に対する配当金 (年4%)	43,581,238
特 別 積 立 金	250,000,000
次 期 繰 越 金	68,282,366

以上のとおりであります。

平成23年6月24日



アルプス中央信用金庫

理 事 長	大 澤 一 郎
専務理事	清 水 純 一
常務理事	小 山 重 治
常務理事	飯 島 寛
常勤理事	細 田 節 男
常勤理事	吉 澤 祥 文
理 事	塚 越 寛
理 事	山 浦 速 夫
理 事	佐々木 正 博
理 事	竹 入 正 一
理 事	伊 藤 英 敏
常勤監事	北 原 信 夫
監 事	高 坂 建 樹
員外監事	下 平 利 光

リスク管理債権の状況

貸出金のうち、破綻先債権額は4,805百万円、延滞債権額は11,522百万円であります。

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

貸出金のうち、3ヵ月以上延滞債権額は33百万円であります。

なお、3ヵ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は1,028百万円であります。

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3ヵ月以上延滞債権に該当しないものであります。

破綻先債権額、延滞債権額、3ヵ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は17,389百万円であります。

なお、これらの開示債権額は、差入れられている担保や、保証機関等の保証による回収及び既に引き当てている貸倒引当金等を控除前の金額であり、当金庫の将来の損失額をそのまま表わすものではありません。

単体自己資本比率の状況

(単位：百万円)

項目	平成22年3月末	平成23年3月末
自己資本額(A)+(B)-(C)(D)	11,772	12,058
基本的項目(A)	11,173	11,411
補完的項目(B)	598	646
控除項目(C)	—	—
リスク・アセット等計(E)	133,874	131,044
資産(オン・バランス)項目	123,726	121,586
オフ・バランス取引等項目	1,130	641
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	9,017	8,816
自己資本比率(国内基準) = $\frac{(D)}{(E)} \times 100$	8.79%	9.20%

* 自己資本比率は「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

金融円滑化への取組み

当金庫は「中小企業者等に対する金融円滑化を図るための臨時措置に関する法律」（以下、「金融円滑化法」という）への取組み方針や地域金融の円滑化へ向けた態勢整備を行うため、「金融円滑化管理方針」および「金融円滑化管理規程」を制定しました。

当金庫では、これらの方針に基づき、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給するとともに、お客様の悩みや問題解決に積極的に取組み、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化へ全力で取組んでまいります。

取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定的な資金供給やお客様の悩みや問題解決に対する相談業務は、定款で認められる限られた地域を営業エリアとする当金庫にとって、地域活性化のためにも重要な社会的使命であると認識しております。

お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みやご相談があった場合には、これまで以上に、お客様の抱えている問題等を十分把握したうえで、その解決に向けて真摯に取組みます。

内部統制システムの整備

当金庫では、信用金庫法並びに同法施行規則の規定に基づき、業務の健全性・適切性を確保するため、次の内部統制システムの整備に取り組んでおり、継続的に実効性の確保に努めています。

- ①理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- ②理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- ③損失の危険に関する規程その他の体制
- ④理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
- ⑥監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項
- ⑦理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
- ⑧その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制
- ⑨当該金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制

庶務の概要

総代会

平成22年6月25日 第60期通常総代会
伊那市西町5599-1 プリエキスレード
2階において開催し、下記議案がすべて
原案どおり承認されました。

〔報告事項〕

- (1) 第59期業務報告の件
- (2) 第59期貸借対照表、損益計算書報告の件

〔決議事項〕

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 会員の法定脱退に関する件
- 第3号議案 定款の一部変更承認の件
- 第4号議案 理事及び監事の任期満了に伴う選任の件
- 第5号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

理事会・監事会

- 理 事 会 7回
(会員の異動状況承認の件、諸規程等の
改訂承認の件 他)
- 監 事 会 8回

登記事項

平成22年4月15日 出資の総口数及び出資の総額
変更登記

庶務事項

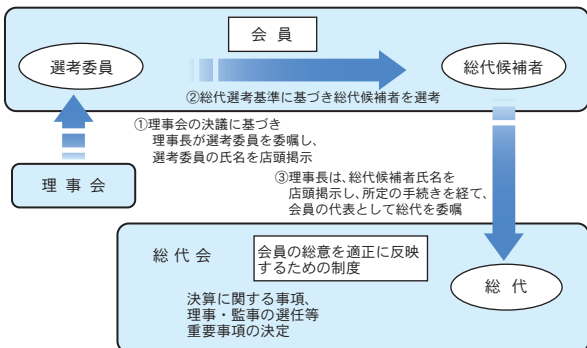
- 平成22年4月1日 「ぐるっと信州ネット」サービス取扱
開始
(提携7金融機関のATM引出し手数料無料化)
- 平成23年1月17日 ATM「視覚障がい者対応ハンドセット」
の設置開始
- 平成23年3月15日 東日本大震災及び長野県北部を震源
とする地震に伴う「地震対策相談窓
口」の設置
- 平成23年3月25日 東日本大震災に伴う被災信用金庫の
お客様への預金代払いの取扱開始

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選定する総代選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、「お客様の声」のハガキの設置、意見・要望・苦情窓口の設置など、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。



総代の任期・定数

1. 総代の任期は3年です。
2. 総代の定数は、100人以上130人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。

なお、平成23年3月31日現在の総代数は121名で、会員数は26,975名（法人3,161名、個人23,814名）です。

総代の選任方法

営業地区を7区の選任区域に分け、会員数に応じて各選任区域ごとに総代の定数を定め、当金庫の会員の中から次に掲げる選考基準により選考しております。

- ①総代として相応しい見識を有していること
- ②良識をもって正しい判断ができる人であること
- ③地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること
- ④地域での居住年数が長く、人縁関係が深い方
- ⑤行動力があり、積極的な方
- ⑥人格、識見に秀れ、当金庫の発展に寄与できる方
- ⑦金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方

店舗のご案内

- | | | |
|-----------|------------------|---------------|
| ◎本店営業部 | 伊那市荒井3438番地1 | (0265)72-4171 |
| ◎赤穂営業部 | 駒ヶ根市中央17番14号 | (0265)82-3151 |
| ◎宮田支店 | 宮田村3320番地3 | (0265)85-3300 |
| ◎飯島支店 | 飯島町飯島1445番地1 | (0265)86-3147 |
| ◎上片桐支店 | 松川町上片桐3647番地 | (0265)37-2121 |
| ◎赤穂東支店 | 駒ヶ根市東町8番10号 | (0265)82-6131 |
| ◎福岡支店 | 駒ヶ根市赤穂9315番地10 | (0265)82-3141 |
| ◎中川支店 | 中川村片桐4080番地1 | (0265)88-3333 |
| ◎南支店 | 駒ヶ根市赤穂10790番地8 | (0265)82-5507 |
| ◎アルプス支店 | 駒ヶ根市赤穂1293番地2 | (0265)81-1311 |
| ◎伊那北支店 | 伊那市山寺3174番地7 | (0265)72-3118 |
| ◎辰野支店 | 辰野町大字辰野1636番地9 | (0266)41-0005 |
| ◎箕輪支店 | 箕輪町大字中箕輪9489番地1 | (0265)79-2205 |
| ◎高遠支店 | 伊那市高遠町西高遠1660番地1 | (0265)94-2133 |
| ◎小野支店 | 辰野町大字小野1270番地1 | (0266)46-3131 |
| ◎伊那東支店 | 伊那市中央4811番地12 | (0265)72-7133 |
| ◎宮木支店 | 辰野町中央34番地1 | (0266)41-3481 |
| ◎春近支店 | 伊那市西春近5242番地2 | (0265)78-6969 |
| ◎竜東支店 | 伊那市中央4697番地1 | (0265)73-3172 |
| ◎南箕輪支店 | 南箕輪村3115番地1 | (0265)76-1011 |
| ◎信大前支店 | 南箕輪村8304番地72 | (0265)76-5551 |
| ◎いほく支店 | 箕輪町大字中箕輪1850番地 | (0265)79-1300 |
| ◎ナイスロード支店 | 伊那市下新田3086番地1 | (0265)74-7701 |

店舗外キャッシュコーナーご案内

平成23年6月1日現在

駒ヶ根地区

- ◎駒ヶ根駅前ビル アルパ内
中沢出張所
- ◎宮の前出張所
- ◎ベルシャイン駒ヶ根店内
- ◎ニシザワショッパーズ福岡食彩館

飯島・中川地区

- 七久保コミュニティーセンター内
- 大草出張所

辰野地区

- 辰野町役場前
- ◎ニシザワショッパーズ辰野平出店

伊那地区

- ◎伊那市駅前ビル「いなっせ」内
- ◎ベルシャインニシザワ店内
ニシザワショッパーズ双葉店
- ◎ニシザワショッパーズ春近大橋店内
- ◎アピタ伊那店内
伊那市役所内
伊那中央病院内
野底出張所
みすず出張所
- ◎ニシザワショッパーズ高遠店

箕輪・南箕輪地区

- ◎箕輪ショッピングセンター内
木下出張所
- ◎ニシザワショッパーズ信大前店
- ◎ベルシャイン伊北店
- ◎ベルシャイン箕輪店